

ふちゅう歴史散歩 Vol.108

承和度の遣唐使と備後権掾・伴須賀雄

海を渡った遣唐使としては最後となった、承和5年(838)出

発の承和度の遣唐使に、備後権掾(「権」は正員以外の権の任官、「掾」は国司の第三等官を示す)の伴須賀雄が加わっていました。須賀雄は、『入唐求法巡礼行記』に「別請益生(特別な請益生)」とあります。

請益生とは、遣唐使の滞在中に各分野の勉学に励み、遣唐使の任務終了と同時に帰国する、短期滞在型の留学生のことです。次の遣唐使が来るまで滞在して、勉強する人たちを留学生と言います。



貴族の対局(『源氏物語絵巻』請求記号ん-98、国立国会図書館デジタルコレクションより)

ます。

須賀雄の専門分野は不明ですが、帰国直後の承和6年10月に、仁明天皇の御前で伴雄堅魚と囲碁の対局を行っており、それを記録した『続日本後紀』には「當時上手」、「西宮記」には「遣唐使碁師」とあります。ちなみに、雄堅魚も延暦23年(804)出

発の延暦度の遣唐使の碁師でした。『続日本紀』天平10年(738)7月条によると、囲碁は、8世紀前半には下級官人にまで広まっており、こうした状況のもとで、唐の最新の囲碁を学ぶために碁師が派遣されていたのでしよう。

また、『西宮記』によると、後に須賀雄は備後掾となっており、備後国に赴任していたかは定かではありませんが、もし赴任していたなら上司や同僚を相手に対局しながら、国郡行政について議論していたのかもしれない。

投稿者(文と写真)



府中東高校写真部の2年生

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

Let's think 修学旅行

高校生編 その65

今回の修学旅行は、3泊4日で、東京、新潟方面に向かいました。1日目は、東京で劇団四季のミュージカル「キャッツ」を観ました。2日目と3日目の朝は、新潟でスキーとスノーボード研修を行い、生徒それぞれがスキーとスノーボードを

選択して、講師の方々に教えていただきました。最初は、滑ることができなかったのですが、終わるころには一通りできるようになりました。3日目の夜には、ディズニーシーに行きました。ディズニーシーのパレードは、水と光で幻想的な光景でした。4日目は東京観光で、スカイツリー、浅草、築地に行きました。

この4日を通して私たちは、いろいろな人のことを考えて行動することの大切さや団体行動を行うことの重要さを学びました。私たちにとって、この4日間は最高なものになりました。



新型コロナウイルスの感染に注意しましょう!

新型コロナウイルス感染症の予防のため、外出した後や、咳をした後に、流水と石けんによる手洗いを行いましょう。また、人混みの多い場所は避け、屋内でお互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすときは注意してください。

風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上、高齢者や基礎疾患のある方は2日程度続く方や、強いだるさや息苦しさのある方などは、広島県東部保健所福山支所に相談してください。

問い合わせ先 広島県東部保健所福山支所 (☎084-921-1413 (日中)・☎082-513-2567 (休日・夜間))